

株式会社ニッカトー 2019年3月期（第1Q）決算説明資料

目次

1. 2019年3月期（第1Q）業績概要
2. 2019年3月期業績予想
3. 事業トピックス

目次

1. 2019年3月期（第1Q）業績概要
2. 2019年3月期業績予想
3. 事業トピックス

経営成績の概要

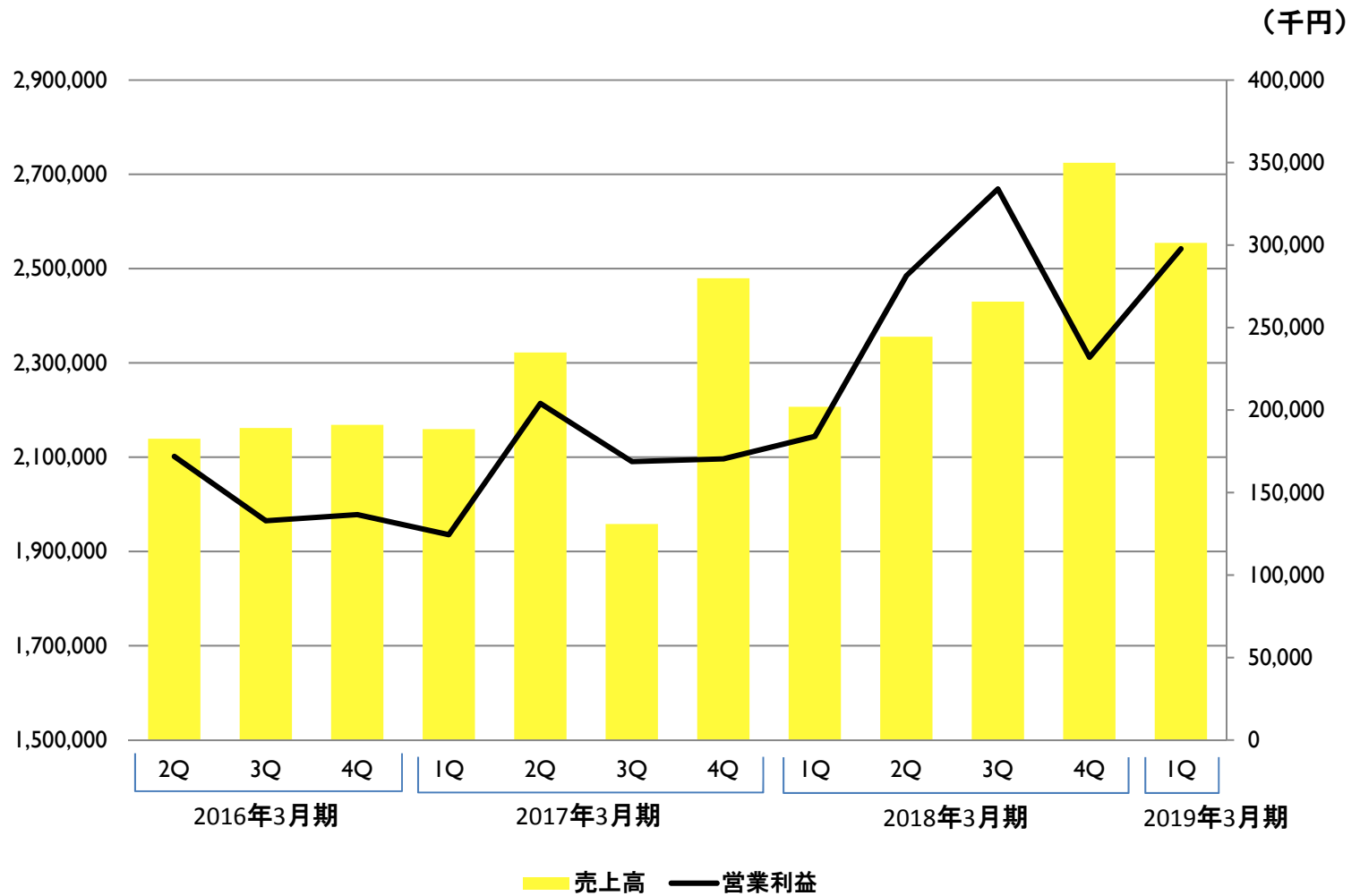
(単位：千円)

	2018年3月期1Q		2019年3月期1Q		対前年		対通期予算	
	実額	売上比	実額	売上比	増減額	増減率	予算	達成率
売上高	2,206,864		2,554,448		347,584	15.8%	10,000,000	25.5%
売上原価	1,689,603	76.6%	1,902,244	74.5%	212,640	12.6%	7,420,000	25.6%
販売費及び一般管理費	333,244	15.1%	354,492	13.9%	21,247	6.4%	1,510,000	23.5%
営業利益	184,015	8.3%	297,711	11.7%	113,695	61.8%	1,070,000	27.8%
経常利益	205,473	9.3%	320,250	12.5%	114,777	55.9%	1,100,000	29.1%
当期純利益	141,766	6.4%	214,605	8.4%	72,839	51.4%	760,000	28.2%

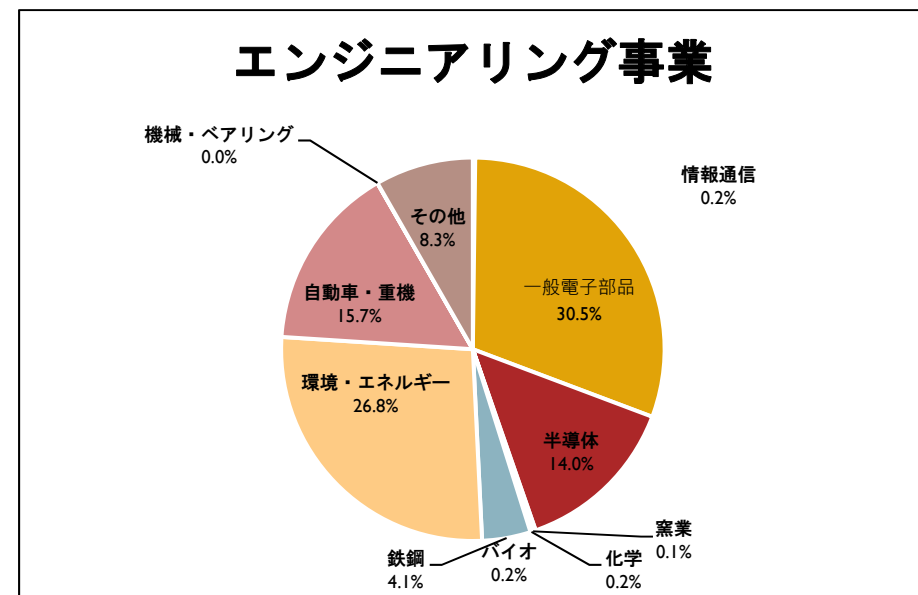
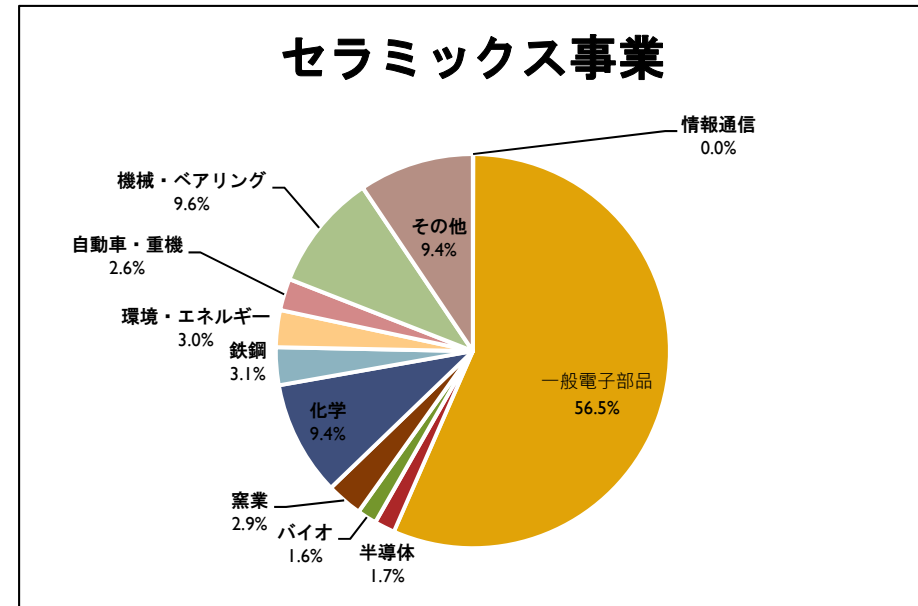
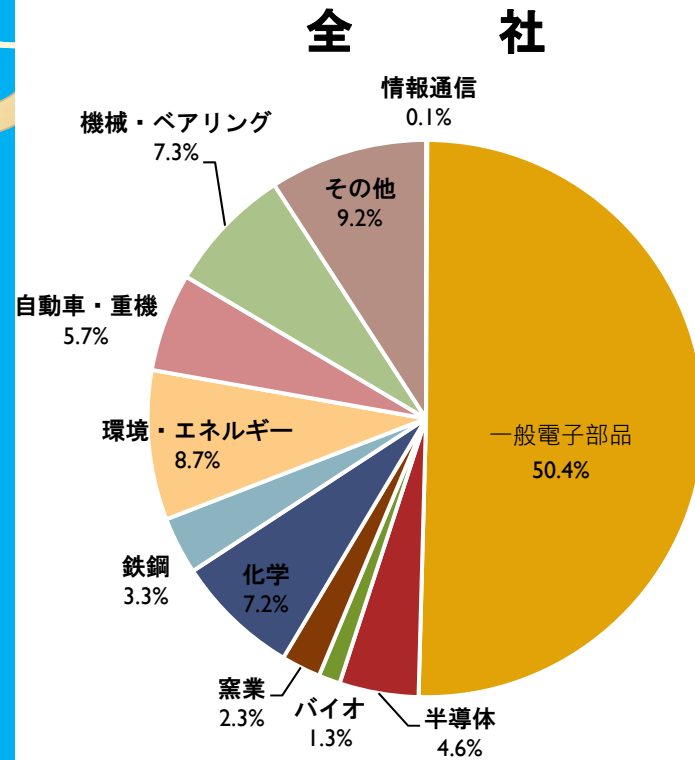
研究開発費	48,293	2.2%	49,424	1.9%	1,130	2.3%	-	-
EPS(円)	11.88	-	17.98	-	6.10	-	-	-
ROA (%)	4.1	-	5.8	-	1.7	-	-	-
ROE (%)	5.7	-	8.1	-	2.4	-	-	-

※ROA・ROEの数値は第1四半期の実績値を通期換算して計算しております。

売上高・営業利益推移（四半期毎）



マーケット別構成比



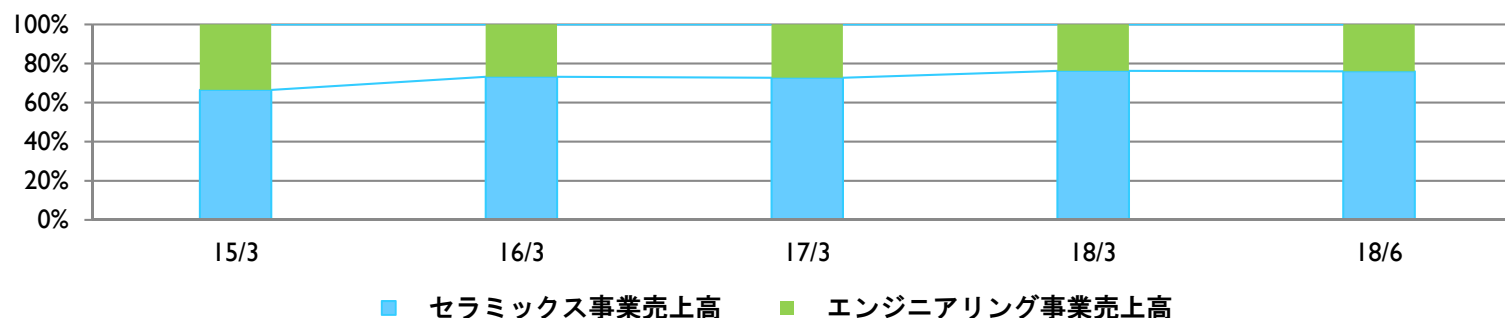
※マーケット別構成比は2018年3月期のデータを使用しております。

セグメント別業績

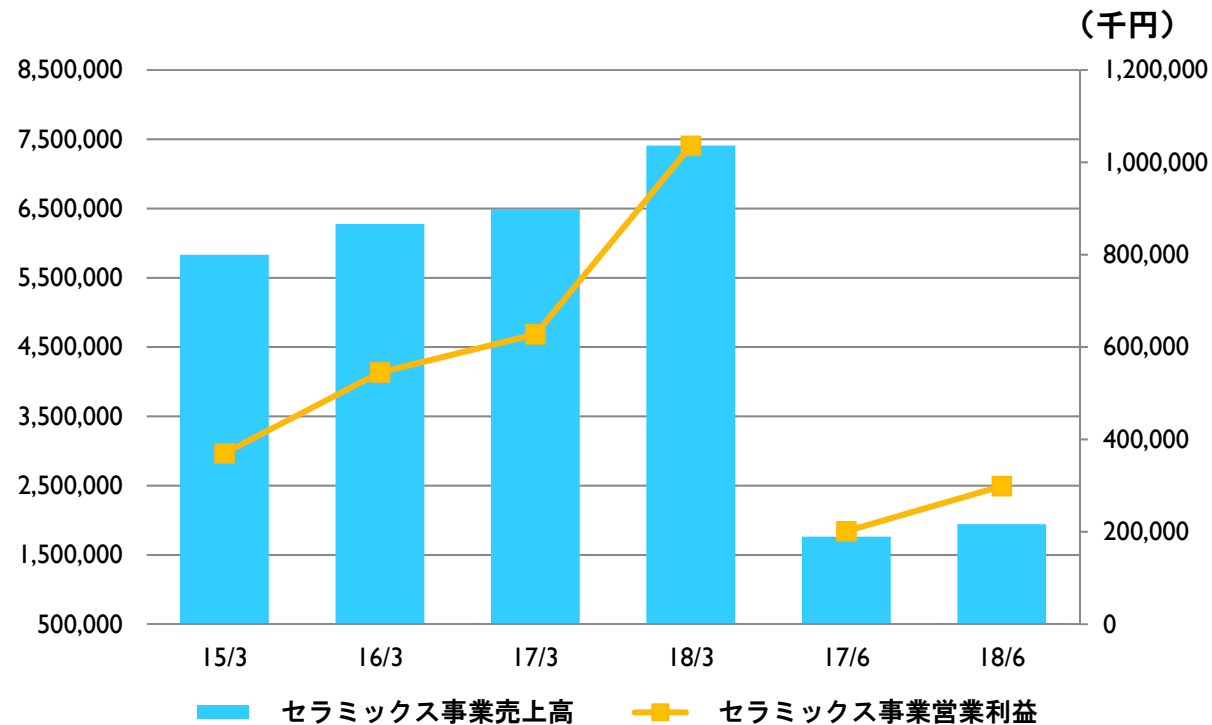
(千円)

	2018年3月期1Q		2019年3月期1Q		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	2,206,864	100.0%	2,554,448	100.0%	15.8%
セラミックス事業					
機能性セラミックス	122,312	5.5%	118,589	4.6%	-3.0%
耐摩耗セラミックス	1,137,680	51.6%	1,248,269	48.9%	9.7%
耐熱セラミックス	450,646	20.4%	528,420	20.7%	17.3%
理化学用陶磁器他	52,192	2.4%	46,464	1.8%	-11.0%
合 計	1,762,832	79.9%	1,941,743	76.0%	10.1%
エンジニアリング事業					
加熱装置	109,067	4.9%	230,978	9.1%	111.8%
計測機器・同システム	334,964	15.2%	381,726	14.9%	14.0%
合 計	444,031	20.1%	612,704	24.0%	38.0%
営業利益	184,015	-	297,711	-	-
セラミックス事業	201,403	-	299,004	-	-
エンジニアリング事業	-17,388	-	-1,293	-	-

売上構成比の推移

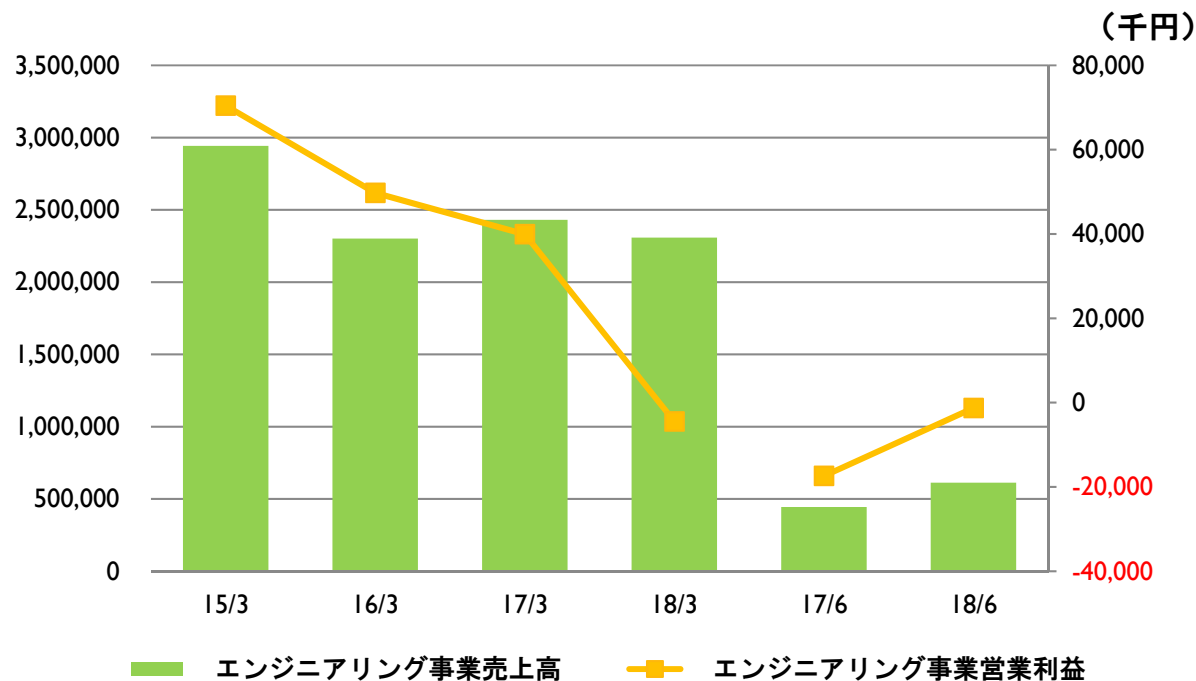


セラミックス事業



- Y T Z ボール・セラミックスローラーは昨年度から継続して好調に推移
- 工場の稼働率も高水準を維持

エンジニアリング事業



- 加熱装置の売上は、前年同期比111%増加
- 受注は加熱装置・計測機器ともに堅調

貸借対照表

(千円)

	18/3末	18/6末	増減率
流動資産	8,699,199	8,822,438	1.4%
現金預金	2,802,684	2,911,799	3.9%
売掛債権	3,621,910	3,532,764	△ 2.5%
棚卸資産	2,143,647	2,251,575	5.0%
その他	130,957	126,299	△ 3.6%
固定資産	5,940,770	5,852,943	△ 1.5%
有形固定資産	3,557,002	3,537,502	△ 0.5%
無形固定資産	53,241	62,465	17.3%
投資その他	2,330,526	2,252,974	△ 3.3%
資産合計	14,639,969	14,675,381	0.2%

	18/3末	18/6末	増減率
流動負債	3,628,936	3,628,914	△ 0.0%
買掛債務	2,000,603	1,971,223	△ 1.5%
短期借入金	517,352	500,688	△ 3.2%
その他	1,110,981	1,157,002	4.1%
固定負債	441,432	450,655	2.1%
長期借入金	57,196	32,000	△ 44.1%
その他	384,236	418,655	9.0%
純資産	10,569,600	10,595,811	0.2%
株主資本	9,940,061	10,011,187	0.7%
評価・差額等	629,539	584,624	△ 7.1%
負債・純資産合計	14,639,969	14,675,381	0.2%

- ・ 流動資産
現金預金 売掛債権の減少に伴い現金預金は増加
- ・ 固定資産
投資その他 株価下落に伴う投資有価証券の評価減に伴い減少
- ・ 流動負債
その他 未払金・営業外電子記録債務の増加に伴い増加
- ・ 固定負債
長期借入金 借入金の返済に伴い減少
- ・ 純資産
評価・差額等 株価下落に伴う評価差額金の減少に伴い減少

※「税効果会計に係る会計基準」の一部改正（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）を当第1四半期から適用しており、前年度末の数値につきましては遡及修正しております。

キャッシュフロー計算書

(千円)

	17/3末	18/3末	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,062,637	959,195	△ 103,442
税引前当期純利益	700,955	1,071,687	370,731
減価償却費	496,652	540,032	43,379
棚卸資産の増減額	247,994	△ 328,216	△ 576,210
その他	△ 382,965	△ 324,308	58,656
財務活動によるキャッシュ・フロー	177,663	△ 775,269	△ 952,932
有形固定資産の取得	△ 331,056	△ 865,352	△ 534,295
その他	508,720	90,083	△ 418,637
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 189,020	△ 273,286	△ 84,265
配当金の支払額	△ 154,969	△ 191,033	△ 36,064
その他	△ 34,051	△ 82,252	△ 48,200
現金等の増減額	1,051,280	△ 89,360	△ 1,140,640
現金等の期末残高	2,872,044	2,782,684	△ 89,360

- ・ 営業CF
棚卸資産の増減額
在庫の増加
- ・ 投資CF
有形固定資産の取得
セラミックス事業設備投資
- ・ 財務CF
配当金の支払額
配当額13円→16円
- その他
借入金の返済による減少

※キャッシュフロー計算書は2018年3月期のデータを使用しております。

目次

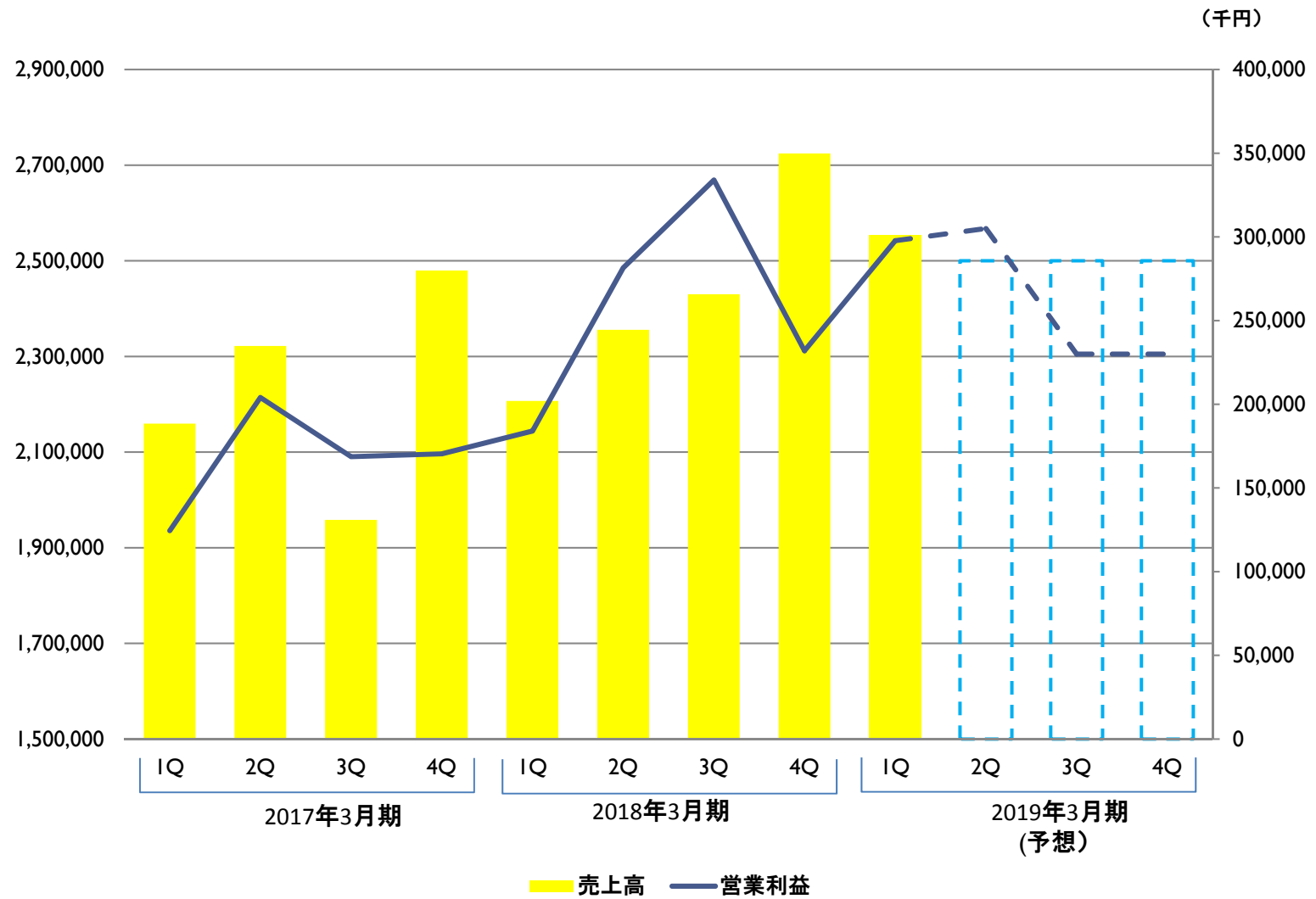
1. 2019年3月期（第1Q）業績概要
- 2. 2019年3月期業績予想**
3. 事業トピックス

2019年3月期業績予想 (I)

(千円)

	第1四半期(予測)		第1四半期(実績)		対予測比	2019年3月期(予測)		対予測(通期)比
	金額	売上比	金額	売上比	達成率	金額	売上比	進捗率
売上高	2,500,000		2,554,448		102.2%	10,000,000		25.5%
売上原価	1,830,000	73.2%	1,902,244	74.5%	103.9%	7,420,000	74.2%	25.6%
販売費及び一般管理費	365,000	14.6%	354,492	13.9%	97.1%	1,510,000	15.1%	23.5%
営業利益	305,000	12.2%	297,711	11.7%	97.6%	1,070,000	10.7%	27.8%
経常利益	315,000	12.6%	320,250	12.5%	101.7%	1,100,000	11.0%	29.1%
当期純利益	215,000	8.6%	214,605	8.4%	99.8%	760,000	7.6%	28.2%

2019年3月期業績予想 (2)

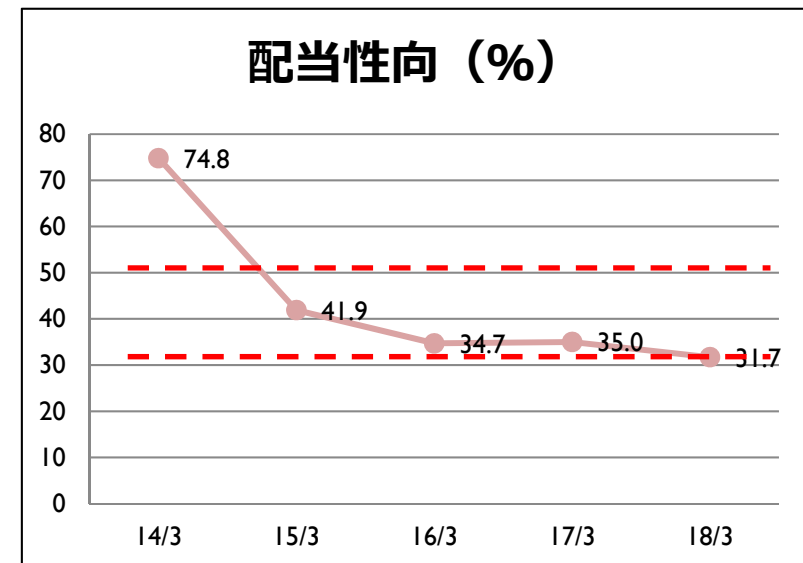
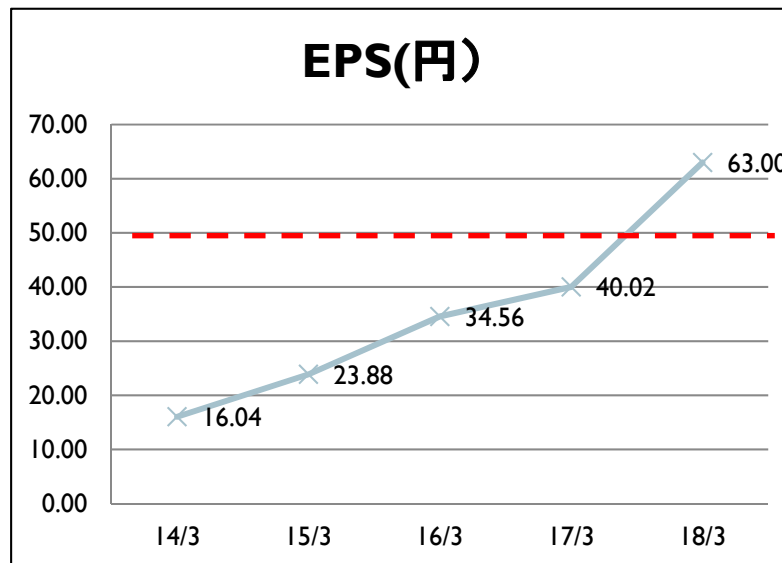
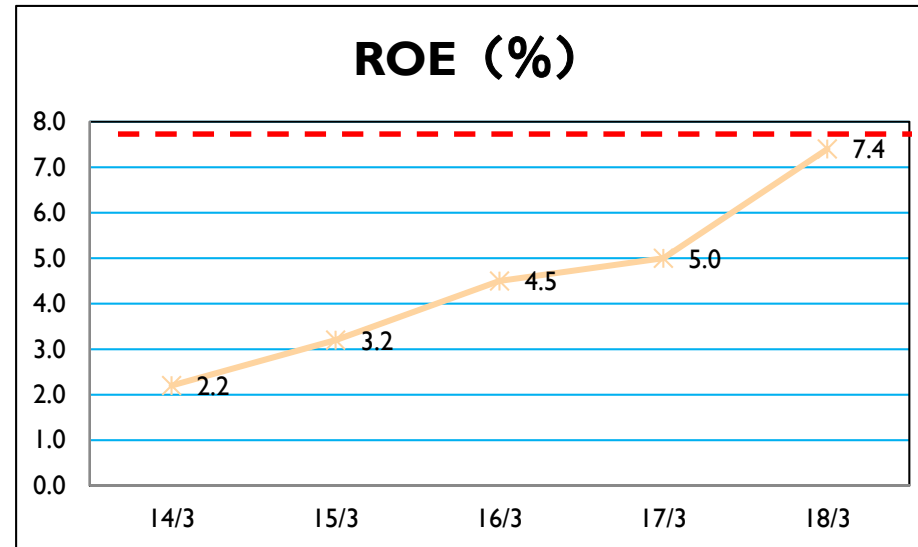


目標とする経営指標（I）

- ROE（自己資本当期純利益率）
→8%以上
- EPS（1株当たり当期純利益）
→50円以上
- 配当性向
→30%～50%

目標とする経営指標 (2)

(過年度実績)



目次

1. 2019年3月期（第1Q）業績概要
2. 2019年3月期業績予想
- 3. 事業トピックス**

JANコード導入

人手不足が深刻化する中、販売店、ユーザー各社においても在庫管理の省力化、物流コスト削減は重要なポイントとなります。当社におきましても遅ればせながら、ユーザビリティ向上の一環になればとの思いから、昨年度よりJANコードを導入しております。

また、製品名をご存じないユーザーでもJANコード指定でご購入頂けることや当社製品を安心して確実にご購入頂く際のお手伝いにも一役買っております。

これからも引き続きユーザー目線に立った製品作りを心掛けてまいります。



東山工場自動倉庫稼働開始

本年3月に東山工場に新たに自動倉庫を建設致しました。お客様に安定かつ高品質の製品を継続して供給していくためには、品質が安定した原材料の入手が必要不可欠です。しかしながら、原材料によっては今後、枯渇の懸念があることから、安定した品質の原材料の確保と災害発生時への対応を目的に建設致しました。

これにより、原材料の入手不安が解消でき、高品質な製品を今まで以上に継続して提供させて頂ける体制が整いました。



（注）本資料に記載いたしております業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分にリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。